

ほっかいどう 広報紙

北海道のいまを知る、明日へつながる
年6回 1・3・5・7・9・11月にお届けします



【特集】平成26年度北海道予算

チャンスを飛躍への力に。
財政の健全化を進めながら、
未来の北海道づくりに取り組みます。

平成26年度北海道予算が決まりました。
道がこれまで取り組んできた行財政改革の概要とあわせ、
今年度の重点的な取り組みをご紹介します。

直面する課題に対応し、持続的に発展する北海道を築くために

北海道は、急速に進行する人口減少・高齢化や、経済や暮らしへの影響が心配されるTPP問題への対応、電力の安定供給、安全で安心な地域交通の維持・確保など、将来に関わる大きな課題に直面しています。

一方で、アジアを中心とする外国人観光客の飛躍的な増加や、食クラスター活動の着実な進展、再生可能エネルギーの普及拡大など、全道各地で未来につながる新たな動きが広がっています。

いま北海道に必要なことは、景気回復の波を全道に押し広げ、国内外からの信頼や期待をチャンスととらえて飛躍への力にすることです。

平成26年度は、こうした動きを一層広げるとともに、直面する課題にしっかりと対応し、将来にわたって持続的に発展する北海道を築いていくため、「経済」「環境」「暮らし」の3つの柱に重点を置いた取り組みを進めていきます。

行財政改革の取り組みを、引き続き進めていきます

こうした重点政策を推進していくためにも、しっかりとした行財政基盤をつくり上げていく必要があります。

道では、平成18年2月に策定した「新たな行財政改革の取組み」に基づき、職員数の適正化や出先機関の統廃合、施策の見直しや歳入・歳出の徹底した見直しなど、計画的な行財政改革に取り組んできました。

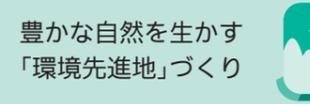
その結果、財政構造の改善は着実に進みつつありますが、道財政は今後もなお収支不足の発生が避けられない見通しにあるため、引き続き計画的かつ切れ目のない行財政改革に取り組んでいきます。

▶特集(平成26年度北海道予算)に関するお問い合わせは、道庁財政課 ☎(011)204-5030 ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zsi/index.htm>

●重点的な取り組み



本道の強みを生かす
「自立型経済」の実現



豊かな自然を生かす
「環境先進地」づくり



地域の絆と知恵を生かす
「安全・安心社会」の実現

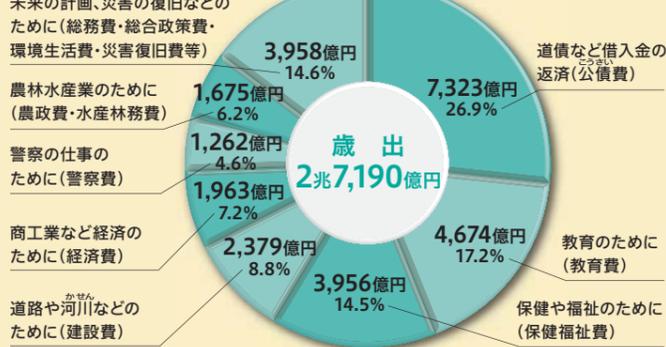
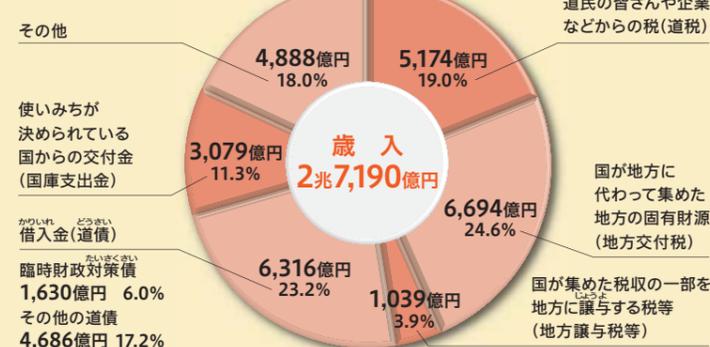
平成26年度予算の概要

平成26年度予算は、高齢化の進展や消費税率の引き上げに伴う社会保障の充実などによって保健福祉関係経費が増加したことなどにより、昨年度と比較して315億円増の2兆7,190億円となりました(一般会計)。

なお、予算の編成段階において、さまざまな収支対策を講じましたが、収支不足額の全額を解消する見通しが立たないことから、公共事業費の一部(国直轄事業負担金80億円)の計上を留保しています。

今後、予算の効率的な執行や節約などに努め、最終的に収支不足が解消できるよう取り組んでいきます。

●歳入・歳出の構成



クイズで知ろう北海道
Q. このマークの意味は?



イランカラッテ
「こんにちからはじめよう。」

答えは中面下に

特集 平成26年度 北海道予算 (主な重点政策) 新たな発展への追い風を呼び込み、将来に希望をつないでいきます。

▶特集(主な重点政策)に関するお問い合わせは、道庁政策局 ☎(011)204-5130 ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssa/ssk/juten-index.htm>

経済 本道の強みを生かす「自立型経済」の実現

北海道の食や自然、観光などの優位性を生かし、「アジアの食の拠点」を目指す食産業立国、世界に誇れる観光のくにづくりを進めるとともに、成長するアジア・ロシア極東との交流拡大に取り組むほか、地域を支える産業力の強化を進めます。

主な取り組み

アジアの食の拠点をめざす食産業立国の推進

- 地域特性を生かした6次産業化や新たな市場ニーズをとらえた研究開発・事業化、世界に通じる食ブランドの磨き上げなど道産食品の付加価値向上に取り組むとともに、北海道独自の食品機能性表示制度の普及拡大や輸出の拡大に向けた取り組みなどによる、食の総合産業化を進めます。
- 消費者への適切で迅速な情報提供を進め、HACCPの考えに基づき自主衛生管理の導入促進に取り組みます。また、北海道米や道産小麦をはじめとする産地地消、食育を進めます。
 - ※HACCP=食品の製造過程における品質管理システムのこと。
- 農林水産業の競争力強化に向け、担い手への農地集積、農業法人設立への支援、ニシンやマツカワ、ナマコなど海域の特性に応じた栽培漁業を進めます。



世界に誇れる観光のくにづくり

- 海外の国や地域のニーズに応じた戦略的な誘客の促進や、外国人観光客の受入体制の充実に取り組みます。
- アジアをターゲットとする体験型観光など、地域の魅力を生かした満足度の高い観光地づくりを進めます。
- 平成28年春の北海道新幹線開業に向け、東北や北関東でのPR活動を展開するほか、開業効果を全道に波及させるカウントダウン・プログラムに取り組みます。



地域を支える産業力の強化

- 自動車や食関連機械産業などものづくり産業の振興をはじめ、地域を支える中小企業・小規模事業者への支援、地域産業の担い手の育成に取り組みます。

成長するアジア・ロシア極東との交流拡大

- 魅力ある自然や食、産業の強みなどを組み合わせて北海道のブランドイメージを高め、海外販路や誘客の拡大につなげる「クール・HOKKAIDO」の取り組みを進めます。
- ロシア極東との交流基盤を生かし、食や健康、エネルギーなど社会的課題の解決に向けて、企業参入の促進や相互交流などに取り組みます。
- 北海道の地理的優位性などを生かして、物流ネットワークづくりや交流拡大を図る「北東アジア・ターミナル構想」を進めます。

環境 豊かな自然を生かす「環境先進地」づくり

地域の特性を生かしたエネルギーの地産地消、森林資源の循環利用、地球温暖化対策に取り組むほか、水資源や多様な生態系の保全、エゾシカなどによる被害対策を進めます。



主な取り組み

低炭素・循環型社会の構築

- 新エネルギーの導入目標を踏まえて、バイオマスや小水力など再生可能エネルギーの導入支援に取り組み、エネルギーの地産地消を進めます。
- 冷涼な気候などを生かした環境配慮型データセンターや先進的な植物工場など、環境・エネルギー産業の振興に取り組みます。
- 二酸化炭素の吸収源となる森林の整備や道産木材の安定供給、木質バイオマスエネルギーの利用など、森林資源の循環利用を進めます。
- 家庭などでの省エネ行動の普及・定着や、道有施設での照明のLED化、産業廃棄物の排出抑制などの地球温暖化対策を進めます。

自然共生社会の構築

- 水資源や森林など豊かな自然環境の保全・継承と、多様な生態系の保全に取り組みます。
- 各地に被害が広がるエゾシカやヒグマに加え、アザラシやトドなど海獣による農林漁業への被害対策に取り組みます。



暮らし 地域の絆と知恵を生かす「安全・安心社会」の実現

子どもを生み育てやすい環境づくりや高齢者・障がい者の安心の確保を進めるとともに、「自助」「共助」「公助」による地域防災力の向上などに取り組みます。



主な取り組み

人口減少・高齢化を見据えた安心社会づくり

- 周産期医療体制の確保や待機児童解消の取り組みなど、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを進めます。
- 子どもたちの学力・体力の向上やいじめの防止など、学びの環境づくりを進めます。
- 高齢者の地域包括ケアシステムの構築や認知症対策の推進、障がい者の自立支援に取り組みます。
- 医療従事者の確保やドクターヘリの拡充といった救急医療体制の充実など、地域を支える医療対策を総合的に進めます。
- 集落対策など持続可能な地域づくりや地域交通ネットワークの確保、犯罪防止対策を進めます。
- 北海道の豊かさの象徴であるアイヌ文化や縄文文化の発信のほか、国内外のスポーツ大会で活躍できる選手や指導者の育成などスポーツを通じた地域づくりを進めます。

強靱な北海道づくり

- 道民の防災意識の向上を図る防災教育、災害時の拠点施設の耐震化、太平洋沿岸をはじめとする各地域の津波対策など、総合的な防災・減災対策を進めます。
- 原子力防災対策の強化を図るため、緊急時対策拠点となるオフサイトセンターの体制整備や関係機関と連携した防災訓練などを進めます。
- リスク分散を重視した本社機能移転や企業の誘致など、バックアップ拠点の形成に取り組みます。



道からのお知らせ 赤れんが

北海道いじめの防止等に関する条例

4月1日に施行されました

児童生徒の尊厳を守るとともに、児童生徒が互いの違いを認め合い、支え合いながら、健やかに成長できる環境づくりのため、いじめの防止等に関する条例を制定しました。

- [基本理念、責務等]**
- 基本理念 学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにします。
 - 道の責務 市町村がいじめの防止等のための施策を策定し、実施する際、情報提供や助言等を行います。
 - 学校及び教職員の責務 学校全体でいじめの未然防止や早期発見に取り組みます。
 - 保護者の責務 児童生徒がいじめを行うことのないよう、規範意識や他人を思いやる心を養うよう努めます。
 - 道民及び事業者の役割 児童生徒とふれあう機会を大切にし、見守るとともに、関係者と連携し児童生徒が健やかに成長できる環境づくりに努めます。

北海道いじめの防止等に関する条例

▶教育庁学校教育局参事(生徒指導・学校安全) ☎(011)204-5755

ホッカイドウ競馬開催中

門別競馬場でナイトレースを楽しもう

白高町の門別競馬場では、11月13日までの火・水・木曜日(一部の火曜日を除く)、ナイトレース「グランジャリオナイター」を開催中です。

名物のとねこジギスカンを提供する飲食店なども充実、JR札幌駅から無料送迎バス(予約制)も運行します。

馬券は門別競馬場のほか、場外発売所Aibaでも購入できます。熱いレースをお楽しみください。

白熱のナイトレース

▶(一社)北海道軽種馬振興公社 ☎(01456)2-2501

▶道庁農政部競馬事業室 ☎(011)204-5377

緑の募金運動にご協力を

5月31日(土)まで実施中です

北海道森と緑の会が実施する緑の募金は、台風などで被害を受けた森林の再生、魚を育む森の保全、公園などでの身近な緑づくりや森林環境教育などに役立てられています。

不用な本やCDなどを寄付する本でも参加できます。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

北海道 緑の募金

▶道庁森林活用課 ☎(011)251-3865

自動車税の納期限は6月2日(月)です

忘れずに納めましょう

自動車税は、道内の金融機関、郵便局のほか、コンビニエンスストアでも納めることができます。

納税に関するご相談は、お近くの総合振興局・振興局、道税事務所にご連絡ください。

道税 問い合わせ

▶道庁税務課 ☎(011)204-5061

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金 市町村で申請受付の準備中です

消費税率引き上げに伴い、所得の低い方と子育て世帯の負担を緩和するために支給する予定です。

申請先は平成26年1月1日に住民登録されている市町村となり、詳しくは市町村の広報などでお伝えします。

臨時福祉給付金	子育て世帯臨時特例給付金
●対象者:平成26年度分の市町村住民税が課税されない方(ただし、自身を扶養している者が課税者である場合などを除く)	●対象者:平成26年1月分の児童手当・特例給付を受給し、平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方
●支給額:対象者1人につき1万円 ※高齢基礎年金などの受給者には5万円を加算	●支給額:対象児童1人につき1万円 ※臨時福祉給付金と併給調整

厚生労働省の問い合わせ先 ☎(0570)037-192

▶道庁福祉援護課 ☎(011)204-5267

▶道庁子ども未来推進局 ☎(011)204-5237

自転車の安全な利用のために

自転車のルールを守りましょう

自転車は便利で環境に優しい乗り物ですが、ルールやマナーを無視した乗り方は事故につながります。

次の5つを守って安全に利用しましょう。

[自転車安全利用五則]

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

▶道警本部交通企画課 ☎(011)251-0110(内線5061)

春の野山ではヒグマに注意

あなたが被害にあわないために

ヒグマによる人身事故の多くは、山菜採りなどで野山に入ったときに発生しています。被害にあわないよう、野山に入るときは次のことを守りましょう。

- 事前に市町村役場などで出没情報を確認する。
- 野山には絶対に一人では入らず、集団で行動する。
- 鈴や笛を音を出し、人の存在をヒグマに知らせる。
- 朝夕などの薄暗いときには行動しない。
- フンや足跡を見たら、すぐに引き返す。

▶道庁生物多様性保全課 ☎(011)204-5205

総合振興局・振興局ニュース

道内各地の話題をお届けします。

上川総合振興局 ▶天塩川賑わい創出プロジェクト進行中。

天塩川周辺の13市町村では、地域の魅力を再認識し、訪れる人の理解を深めるため、セミナーによる地域連携、モニターツアーでの魅力創造、フェイスブックでの情報発信などの取り組みを行っています。

昨年10月からことし2月に実施した住民再発見ツアーでは、周辺地域の住民同士がお互いを訪問、地域の隠れた魅力をレポートにまとめて配布、インターネットでも公開しています。

皆さんも「天塩川王国」の魅力にふれてみませんか。

▶地域政策課 ☎(0166)46-5914 ▶テック・オペ・賑わい創出協議会 ☎(01654)3-2111(内線3348)

渡島総合振興局 ▶情報アプリ「みなみ北海道観光ガイド」配信中。

渡島総合振興局では、道南の広域観光情報発信のひとつとしてスマートフォン対応アプリを配信しています。

道南4エリアの観光・温泉・宿泊・グルメ・体験観光情報をはじめ、周辺スポット表示機能、ナビゲーション機能、スタンプ帳機能を搭載しています。

旅のパートナーとして、ぜひご利用ください。

アプリはApp Store・Google Playで配信

みなみ北海道観光ガイド

▶商工労働観光課 ☎(0138)47-9461

宗谷総合振興局 ▶稚内からサハリンへ。2014フェリー航路が運航。

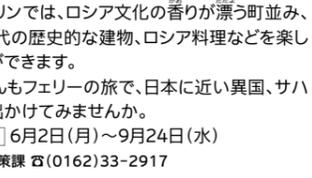
ロシア連邦サハリン州は、宗谷地域から海を隔ててわずか43kmの距離。2つの地域を結ぶ国際定期フェリーが、本年度も運航を開始します。

サハリンでは、ロシア文化の香りが漂う町並み、樺太時代の歴史的な建物、ロシア料理などを楽しむことができます。

皆さんもフェリーの旅で、日本に近い異国、サハリンに出かけてください。

運航期間 6月2日(月)～9月24日(水)

▶地域政策課 ☎(0162)33-2917



道議会だより

平成26年第1回定例会 (2/19～3/20)

知事から提案された予算案33件、条例案80件、その他の案件46件の159案件を原案可決、人事案件2件を同意議決しました。また、議員及び委員会から提出された会議案1件、決議案1件、意見案12件は原案可決、意見案2件は否決されました。

■可決した会議案の主な内容

- 議員の報酬及び政務活動費をそれぞれ月5万円減額する措置を平成27年4月29日まで延長するための条例の改正

■可決した決議案の主な内容

- 大間原発の建設に関し、国及び電源開発院は誠意を持って説明責任を果たすことと原子力規制委員会は安全性について慎重かつ厳正な審査を行うことなどを求める。

■可決した意見案の主な内容

- 子ども・子育て支援新制度の円滑な施行を図るため、基準省令等の早期制定などを要望
- 災害時多目的船の早期導入に向けた工程表の作成などを要望
- 聴覚障がい者が暮らしやすくなるよう「手話言語法(仮称)」の制定を求める
- TPP協定への参加に関し、北海道の農林水産分野の重要品目の関税が維持されるよう要望
- 小規模企業の振興に特化した基本法の早期制定などを要望

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

●公務員獣医師の給与上の処遇改善などを要望

●東日本大震災被災避難者への住宅支援の弾力的運用などを要望

●期末・退職手当が支給されない地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善を要望

●東京五輪・パラリンピックに向けた環境整備、地域の取り組みへの支援などを要望

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充などを要望

●過労死等の防止に向けた総合的な対策を行うための法律の早期制定を要望

●派遣労働者の処遇改善に向けた労働者派遣法の改正などを要望

本会議では、代表質問4人、一般質問30人の議員が道政上の諸課題について活発な議論を行いました。主な質問項目は次のとおりです。

行財政運営、原発・エネルギー政策、北海道新幹線、HAC、国家戦略特区、鳥獣対策、スポーツ振興、地域医療の確保、少子化対策、雇用対策、観光振興、中小企業対策、新たな農業政策、道産木材の活用、水産物の消費拡大、大規模施設の耐震化、暴風雪対策、学力向上対策、いじめ問題、教育委員会制度など

～ホームページをご覧ください～

道議会ホームページでは、本会議の日程や審議概要、会議録など、さまざまな情報をご覧いただけます。

次回定例会のお知らせ

平成26年第2回定例会は、6月17日(火)開会予定です。

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

江差ならではの交流ができる「百人の語り部」がおもてなし。



江差町歴まち商店街協同組合【江差町】

商店街 × 語り部

商船として江戸時代から日本海を行き来していた北前船。その歴史的資源が集積する江差町下町1.1kmを道は平成元年「歴史を生かすまちづくり」のモデル地区に指定。江戸時代の町並みを残す「いにしえ街道」が整備され、江差町歴まち商店街協同組合も誕生しました。

当初は数軒だった加盟店も、現在は30軒ほどに増加。歴史を見直す意識も高まり、街道沿いの店主や住人が、先祖から伝わる話や昔の生活道具などを掘り起こし、訪れた人々にも楽しんでもらえる「百人の語り部」活動を企画。「着物語り」「写真語り」、ひな人形にまつわる「ひな語り」など、数多くのイベントを開催しています。

アイデアきらり ほっかいどう 発見伝!

商店街編

北海道ならではのチャレンジ精神で、新しい価値を生み出す取り組みを紹介します。



函館の中学生に歴史を伝える「百人の語り部」活動

目指すは観光地ではなく、地域住民とふれあえるまち。

江差町は北前船の商人が往来していた時代から外との交流が得意なまち。「百人の語り部」はガイド用のマニュアルづくりではなく、先祖から伝わる話を自分たちの

言葉で語り継ぐ活動です。歴史の専門家でなくても、ここには越中(現在の富山県にあたる)の子守唄で育った人や、江戸時代の道具や風習を受け継いで暮らす人がいます。

最近では若い組合員も増え、昔ながらの花嫁行列や長持唄を披露する機会も復活。年間5、6回は中学生の研修を受け入れ、ご高齢の語り部もいきいきしています。

▶お問い合わせ 江差町歴まち商店街協同組合 ☎(0139)52-0531



江差町歴まち商店街協同組合理事長 室谷 元男さん

地域住民の要望に応じて 全国初のデイサービスを開始。



発寒北商店街振興組合【札幌市】

物販中心の商店街から地域コミュニティの担い手として進化し続けている発寒北商店街。地域通貨を利用したエコ活動やボランティアをはじめ、つけもの教室や子育て支援カフェなどの世代間交流に力を入れています。

地域住民の高齢化が進み、水漏れや家電の修理などを引き受ける「ハツキタくらしの安心窓口」を開いてサービス業を充実。住民の要望に応じて、商店街として全国で初めて介護機能を備えたコミュニティ施設「にこびあ」を開設、4月から要支援・要介護者を対象に3時間で入浴もできるデイサービスを始めています。介護スタッフも地元住民で「顔見知りだから安心」と好評です。



デイサービスやレンタルスペースを備えた「にこびあ」

地域の声に耳を傾けて、商店街も変わらなければ。

大型店やコンビニが増えたいま、商店街は買い物する場所だけでは生き残れません。町内会や学校などと連携しながら、地域コミュニティの担い手としてできることを

考えるうちに、増え続ける高齢者の要望が重要だと気がきました。住宅のリフォームや相続に関することまで、商店街が窓口なら安心だという声が多く、そこから発展したのが今回の介護サービス。前例のない事業ですが、子どもから高齢者まで住みやすいまちであり続けるために、地域の声に耳を傾けます。

▶お問い合わせ 発寒北商店街振興組合「にこびあ」事務局 ☎(011)624-5768



発寒北商店街振興組合理事長 土屋 日出男さん

ひとつになろう! 世界と北海道

海外に発信中の取り組みや、自慢のおもてなしをご紹介します。

根室市での商談会がきっかけで ベトナムにアイスクリームを輸出。

(株)べつかい乳業興社【別海町】

べつかい乳業興社は、昨年9月に根室市アジア圏輸出促進協議会が開催した商談会に参加し、10月に看板商品のアイスクリーム120個(50ℓ)をベトナムにテスト輸出しました。

少量では困難だった輸送コスト問題も、根室産のサンマなど海産物と一緒にのコンテナに載せることで解決。良質な生乳が主原料のアイスクリームは濃厚でコクがあり、ホーチミン市の日本食レストランでの評判もよく、台湾や中東地域への輸出も検討しています。

▶お問い合わせ (株)べつかい乳業興社 ☎(0153)75-2160



抹茶味が大人気

北海道 おいしい プレゼント!

田中酒造(株)の「魔法の一滴 本みりん」(500ml)をプレゼント!北海道産もち米を使用し、丹念に仕込んだ「飲むみりん」で、北のハイグレード食品2014に選定されています。

抽選で 50名様 ●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。



アンケートに答えて道産品を当てよう!

次のアンケートにお答えください。

広報紙「ほっかいどう」5月号はわかりやすかったですか?
①わかりやすい ②ふつう ③わかりにくい

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先 〒060-8588(住所不要)

ハガキ 北海道広報広聴課 「北海道おいしいプレゼント!」係

パソコン 携帯サイト

広報紙「ほっかいどう」 検索

●応募期限: 6月20日(金)必着
応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

北海道の人口	総人口	男	女
平成26年3月末	5,416,711人	2,560,881人	2,855,830人
前年同月比	27,596減	14,185減	13,411減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。

広報紙「ほっかいどう」 検索

次号のお知らせ
7月号は7月9日(水)から配布予定です。



みんなの文字

この印刷物は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お知らせ 広報紙「ほっかいどう」は、チラシ検索サイトのShufoo!でも閲覧できます(5月号は5/21~24) www.shufoo.net/ シュフー 検索

